

城岳同窓会報



歴史と伝統ある城岳同窓会

一般社団法人 城岳同窓会会長 宮里 博史 (21期)

嘉数前会長の後任として、「歴史と伝統ある城岳同窓会」第9代目の会長に就任することになりました。宜しく願い申し上げます。嘉数前会長には長年にわたり同窓会の役員としてご尽力いただき感謝申し上げます。又、同窓会だけでなく島田叡氏事跡顕彰会の会長として顕彰碑の建立や島田氏と当時の警察部長、荒井退造氏お二人の功績を広くアピールし、さらにその輪がお二人の出身地兵庫県、栃木県含めて様々な形で広がりつつあります。それ以外でも多岐にわたるご活躍をしております。



こうした嘉数前会長の後任として大役を担うことになり身が引き締まる思いであります。副会長の嘉納勝さん、金城美智子さん、宮城勉さん、與那覇博明さん、事務局長の與儀幸英さんをはじめ理事、代議員、同窓会会員の皆様のご協力を得て母校発展に向けて頑張っていきたいと思っております。

先ほど「歴史と伝統ある城岳同窓会」と申し上げましたが、我々が忘れてはならない先輩方の熱い思いについて5つの出来事を紹介いたします。

一つ目は1953年に二中・那覇高校の同窓会を統合して現在の城岳同窓会を立ち上げてくれました。これによって二中・那覇高校の一体感・一貫性が確立されました。

二つ目は、1957年に二中健児の塔を奥武山公園に建立しましたがその後公園整備のため移転を余儀なくされました。1990年に当時の役員・関係者のご尽力で創立80周年記念事業の一環として、奥武山公園から城岳公園への移設が実現しております。学校の近隣に移設されたことで毎年の慰霊祭には平和学習の一環として多数の生徒も参加することができ、また祀られている先輩方にとっても二中校歌「楚辺原頭に風清く、永遠にゆるがぬ城岳」と歌われている場所から、母校・後輩たちを見守ることができ、より意義深いものとなりました。

三つ目に、かつては学校内に城岳会館がありました。しかし、校舎整備のため取り壊しとなり、活動拠点として同窓会館の確保が課題となっておりました。1996年にタイミングよく現在の学校正門隣に会館を取得することができました。そして、その原資は二中のある先輩から以前に同窓会に寄付された体育館敷地を県に売却することで捻出し会館の取得が実現しております。これによって、学校と同窓会の連携及び同窓会活動が効率的に行なわれています。

四つ目に2008年に二中の先輩A氏から1億円のご寄付を得て、大学に進学する生徒への奨学金制度ができました。昨年にはさらに同氏から5千万円を追加していただき海外体験留学制度もスタートしました。この制度によって同窓会から母校支援の内容が一層充実したものになり

ました。またA氏奨学制度の支援を受けた生徒たちが将来立派な社会人となり、後輩たちの良い手本となってくれるものと思います。

五つ目に2010年に、創立100周年を迎えて、記念式典、祝賀会、芸能祭、100周年記念誌の発刊等記念事業を成功裏に行うことができました。

これら5つの出来事は、それぞれ実現するまでには多くの困難があったかと思いますが先輩方の「城岳魂」すなわち母校を愛し、後輩たちをサポートしていこうとする熱い思いと関係者の理解・協力を得て成し遂げられたものであります。まさに「城岳同窓会の歴史と伝統」を表すものとして、我々は決して忘れてはならない出来事であります。

さて、母校那覇高校は2020年10月に創立110周年を迎えます。記念事業をどのようなものにするかはこれから、学校、PTA、同窓会そのほかの関係者とも協議して検討しますが母校、同窓会の発展に寄与する内容、「城岳魂」が受け継がれるものにしたいと思っています。その節は皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。110周年記念事業の一環として「第1回ゴルフ大会」を2017年3月に行い、第2回目を2018年9月17日に琉球ゴルフ倶楽部で行いました。

2018年の3月に第71期生として435名の後輩たちが卒業しました。二中から累計しますと約4万3千人もの同窓生がおります。その間多くの人材を輩出し、県内外各分野で活躍されていることは誠に喜ばしいことであります。

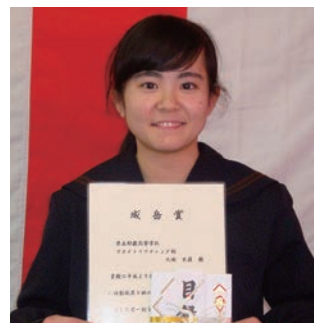
母校の生徒たちは和衷協同・積極進取の校訓を基本に文武両道で頑張っております。我々同窓会として、これまで同様母校の支援及び同窓生相互の交流促進、特に同期生会の定例開催推進、そして110周年記念事業の成功に向けて取り組んでいきたいと思っています。皆様方のご支援を宜しくお願い申し上げます。

城 岳 賞

城岳賞は母校の教育活動支援の一環として、学業・部活動・地域社会への貢献等顕著な業績をあげた在校生に対して、その努力を称え表彰することを目的に平成18年^{あやめ}に設けられ、平成29年度は女子ウエイトリフティング部の大城朱萌さんに授与されました。

平成29年度のウエイトリフティング部員は一人しかいない中、他校の生徒と共に練習に励み、沖縄県高校総体で優勝し、九州大会や全国大会への推薦を受け、第2回全九州高校女子ウエイトリフティング競技会で3位。また、第19回全国高校女子ウエイリフティング競技選手権大会で13位、更に第9回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会では12位と健闘しました。

文武両道を徹底し、部活動と学業に邁進しながら、沖縄県女子ウエイトリフティングを牽引する等着実に実績を積み上げています。



(有)ジャッキーステーキハウス

◎ステーキ ◎タコス ◎サンドイッチ ◎ランチ

営業時間 昼11:00～夜1:00(ラストオーダー) 年中無休

〒900-0036 沖縄県那覇市西1-7-3 (旭橋駅徒歩5分)

Tel.098-868-2408

HP : <http://www.steak.co.jp/>

長 田 就 高 (53期生)



第一回海外ショートステイ・プログラム (SAP)

A氏のたび重なる貴重なご芳志により『第1回 海外ショートステイ・プログラム (Short Stay Abroad Program 以後、このプログラムを (SAP) と称する』を、平成29年度にスタートする事が出来ました。今年は、那覇高校から4名の生徒が推薦され、面接の結果新垣 亮真君を第1期生として派遣しました。

第1期生 新垣亮真 (1年生) ハワイ州 イオラニ・スクール

派遣期間：平成30年3月10日～3月25日



第1期生SAP認定証の交付式を2新聞社が取材しました。



左からHUOA (ハワイ沖縄連合会) 2018年度副会長のJocelyn Igeさん、会長のCourtney Takaraさんと一緒にハワイへ出発。



ホノルル空港で迎えられ、早速のランチ。
左からChris Simabukuroさんご夫妻、Mark Higaさん、Ryouma君、Hanae HigaさんとChrisさんのJunior。



彼方にダイヤモンド・ヘッドが望める、イオラニ・スクールの全景。



ホストファミリーのDuane Miyashiro家と一緒に。



5月22日の帰国報告会では、「ITを駆使した、Iolani Schoolの授業の進め方に戸惑いながらも、多くの出会いを通して、貴重な体験と研修が出来ました。また、The 1st Short Stay Abroad Programで学んだ事をこれからの学園生活に生かしていきます。」と力強く抱負を述べました。

那覇高等学校行事より

●第71回卒業式

平成30年3月1日に第71回卒業式が厳粛の内に挙行され、435名（男子202、女子233）が晴れて卒業しました。3カ年皆勤者が47名（中学校からの皆勤者19名、小学校からの皆勤者7名）で、日頃から生徒の健康管理に対するに保護者の努力の賜物です。

また、卒業式後に同窓会入会式が行なわれ、同窓会員が総勢43,385名（二中卒4,079名、那覇高卒39,306名）となり、107年の歴史が感じられます。



宮城 勉校長先生（30期）から全員に卒業証書が授与されました。

●入 学 式

平成30年度 入学式が4月9日に体育館で挙行されました。吹奏楽部の力強い入場行進曲にあわせて、普通科400名（男子170名、女子230名）が、初々しい制服姿で堂々と勢揃いしました。



A 氏奨学生第10期生

A氏奨学金制度は平成19年（2007年）に二中出身のA氏から1億円のご寄附を戴き、その利息をもって、毎年県内1名、県外2名の進学を支援しています。

《奨学生の資格》

- 1、地域社会や城岳同窓会への貢献が期待できるものであること。
- 2、大学へ進学し、高校在学中は、学業・人物ともに優秀であって経済的理由により、学業継続が困難な者であること。

《奨学金の額》

- ・県内は月額20,000円（年額240,000円）
- ・県外は月額40,000円（年額480,000円）

平成29年度A氏奨学生第10期生の面接を行い、平成30年3月20日の職員会議に於いて、嘉数昇明同窓会長から認定証の交付及び贈呈を行ないました。

金城 芽依さん 岐阜女子大学 家政学部 健康栄養学科

上地 カノンさん 城西大学 メディア学部 メディア情報映像・芸術コース

城間 七粋さん 琉球大学 医学部 保健学科

奨学事業を一層充実する為に口座を開設しました。県内・外はもとより、海外からの寄附を受け付けております。同窓生皆様方の積極的なご協力・ご芳志とご支援をお願いします。

沖縄銀行 二中前出張所 店番 110 普通預金口座番号 1444239
口座名義 社)城岳同窓会 会長 宮里 博史



金城芽依さん、城間七粋さん、上地カノンさん

戦後 73 年目の慰霊祭

「鉄の暴風」が吹き荒れ、島全体が焦土と化した沖縄戦では、本校の前身である県立第二中学校においても 187 名の学徒と 9 名の引率教諭が尊い命を散らしていった。戦後 73 年目の慰霊の日に、先輩方のご冥福を祈り、戦争の惨禍を再び繰り返さない事を誓い、平和を祈念する機会とする。

日 時 平成 30 年 6 月 23 日（土） 午前 10 時～午前 11 時 10 分（雨天決行）
場 所 二中健児の塔（城岳公園内）
参 加 者 遺族、二中同期生、城岳同窓会員、那覇高職員、那覇高 PTA、教育実習生、生徒会役員、学級代表（正副級長 2 名）、吹奏楽部・合唱部、放送部

慰霊祭 （二中健児の塔）



宮里博史同窓会長による追悼の辞



学校長、同窓会長、遺族代表がご焼香。



津波古 泰志生徒会長による「誓いの言葉」



金城 恒陽氏による「遺族代表謝辞」



慰霊碑に刻まれている、肉親の名前に触れる等402名の参列者が平和を祈念しました。

二中健児の塔清掃活動

毎年 6 月 23 日に挙行される「二中健児の塔慰霊祭」の前日に全校生徒で清掃活動を行ない、先輩方のご冥福を祈ると共に、あらためて平和の尊さを考える機会とする。」との目的で二中健児の塔慰霊祭清掃活動が 6 月 22 日の放課後行なわれました。



2018 年 二中・那覇高 城岳同窓会総会・懇親会

平成 30 年度の城岳同窓会の総会・懇親会は那覇高 41 期生が幹事として、「笑顔でひろげよう 城岳の輪 — LAST 平成 集まれ はちゃぐみ!」のテーマで企画・運営のもと 550 名余の同窓生が集い、母校に対する支援や会員相互の交流など意義深い時を過ごす事が出来ました。

日 時：平成 30 年 5 月 26 日（土）

総会＝羽衣の間 17：00 懇親会＝彩海の間 18：30

会 場：ANA クラウンプラザホテル 沖縄ハーバービュー

総 会

総会においては「平成 29 年度 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの付属書類等及び監査報告」「顧問の選任」について決議されました。その後、「事業報告、事業計画、収支予算、役員の改選」について報告されました。



定足数が確認され、総会がスタート。

懇 親 会

総会・懇親会の実行委員会は那覇高校を卒業して 30 年目の期が行なう事になり、今年で 14 年目になります。その年の実行委員会のチームワークやアイデアにより、懇親会の進行やパンフレットの内容が、より豊になってきた事に伴い、参加者の数が年々増加する等活性化されてきました。

平成 30 年総会・懇親は金城 寿実行委員長（41 期生）に引き継がれました。月に 1 回持たれていた実行委員会の話合いが、新年が明けると、月に 2 回から、毎週持たれるようになる等 41 期生の意気込みを感じる様になりました。また、今年度は 11 期生が卒業 60 周年となり、記念品の贈呈が行なわれました。



宮里 博史新会長から嘉数 昇明前会長へ感謝状を贈呈。



二中の小旗を振り、力強く校歌を熱唱。

いらみな司法書士事務所

司法書士 伊良皆 進功 (29 期生)

- ☑不動産・会社の登記
- ☑相続・信託・後見の相談
- ☑裁判書類作成



TEL.098-851-7556

那覇市樋川 1-1-68 2F
(琉銀樋川支店道向い)





卒業60周年の記念撮影には11期生59名が集いました。



2018年総会・懇親会はハチャグミとサンニンの生け花でお迎え。



大懇親会への参加に対して御礼をする大嶺等（41期）実行委員総括。



今年の最年少参加者は70期生トリオ。



「来年は私達42期が実行委員として、頑張ります。」と抱負を述べた新垣喜成実行委員長。



代表社員
会長

仲宗根 宗新 (6期生)
SOUSHIN NAKASONE

社会保険労務士法人 全国第1号登録

社会保険労務士法人

オフィス人事労務
☎(06) 6944-1212

労働保険事務組合

大阪府労働保険協会
☎(06) 6949-4111

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-16-2 森ノ宮コスモビル
FAX(06)6944-1500 e-mail:roumu@jasmine.ocn.ne.jp

「漆・URUSHI」に魅せられて

宮里 正子氏 (20 期)

今年、同期の 20 期生の多くは古希を迎える。団塊世代とよばれ、小学校は午前と午後クラスに分けられ、一クラス 60 人前後の教室は、壁際までパンパンで隙間など見当たらなかった。高校や大学への進学も浪人を余儀なくされた仲間が大勢いた。さらに、その影響は就職、結婚そして次世代のベビーブームへと続いた。

私自身は、そんな競争の渦に対応できず、ひたすら自身の心地良さだけを求めて過ごしてきた。琉球大学を卒業後、東京で学芸員資格単位を取得し帰郷。最初の仕事が沖縄国際海洋博覧会沖縄館の唯一の学芸員で、先輩や指導者もなく孤軍奮闘の時代であった。おかげで、徳川美術館や東京国立博物館、サントリー美術館等々からの超宝物を贅沢に扱わせていただいた。



幸い、健康と居場所に恵まれ、現在は浦添市美術館館長として、大学で沖縄文化の講師として充実した日々を送っている。仕事のキャリアとしては、学芸員である。博物館や美術館の専門職で、収蔵資料の収集や管理そして研究をベースに展示や展覧会を企画。来館者に、展示内容や作品の魅力を伝えるために、解説を書きギャラートークなどの説明会が主な仕事である。

私の研究テーマは、「漆・URUSHI」である。中国や日本、朝鮮半島及びミャンマー、タイ、ベトナムなどでは、ウルシ科の材木から採れる漆の樹液を長く利用してきた。漆は器に塗ると美しい漆器となり、さらに防水や防虫、防錆の材料としての機能も兼ね備えている。琉球王国でも、漆器は王国を代表する 特産品として、中国皇帝や日本の将軍、大名への献上品であり歴史的にも高い価値を得ている。

とりわけ、私が興味を持って 30 年来調査しているのは、ミャンマーやタイ、ベトナムなど東南アジア地域の漆文化である。この地域の廃れつつある漆文化を記録し、伝えていく思いだけで“漆旅”を続けている。

人の縁に恵まれ、なにより心身ともに丈夫な DNA を与えてもらった両親のお蔭で、豊かな心持で過ごせる日々感謝するばかりである。

これからも、「伸びやかに、しなやかに、そしてしたたかに！」を信条とし、江戸っ子であった母の教え「遊びをせんとや生まれけむ。」を心に刻み、楽しい人生を紡ぎ続けていきたい。そのためにも、20 期文化クラスの“我楽多クラブ”の飲み会は欠かせない。

(浦添美術館館長)



<http://www1.ocn.ne.jp/kajimaya/>
人形劇団かじまやあブログ
<http://kuwa.ti-da.net/>

代 表

桑 江 純 子 (23 期生)

〒905-1635 沖縄県名護市字済井出 226-2
TEL & FAX 0980-52-8084
E-mail : kajimaya@minos.ecn.ne.jp

68 歳から写真はじめました

宮城ヨシ子氏（定時 7 期）

私は現在 79 歳ですが、68 歳の時から写真を撮り始めました、きっかけは 2011 年に入学したかりゆし大学の選択科目で写真を学んだことです。そして卒業後も勇崎哲史氏（光画文化研究所）に師事し、ずっと写真を撮り続けています。そして昨年 10 月に初の個展開催と同時に写真集『Frame out.』（ボーダーインク刊）を発行しました。周りの人はもちろん多くの方が自分の写真を見てくれて、みんなに元気をあげられたらうれしいです。写真なのに「フレームアウト」はおかしいんじゃないかと思うけど、ヨシ子さんの写真はいい意味で枠に入られないと言われました。

私は伊是名島に生まれ、中学校まで島で過ごし、1958 年 19 歳で那覇高校定時制課程（7 期生）に入学しました。昭和 4 年生まれ（29 歳）から、中学卒業生（15 歳）までの年齢差があるバラエティ豊かなクラスメートでした。

定時制に通いながら住み込み家事や子どもたちの世話をする仕事をしていました。今では考えられませんが「女中求む」の求人だったと覚えています。毎日、昼間は働いて夕方からの授業です。学業の思い出と言って浮かぶのは、椅子に座ればニープイが始まることと給食が待ち通しかったこと。確か給食にはそばやだんご汁、コッペパン、とうもろこしのアガラサーなどのメニューがあり、どれも美味しかったです。高校で給食があるのは定時制だけの特権だと思います。

定時制で 4 年間通い続け、卒業したことは、自分の中で自信にもつながりましたし、また多くの友を得ることができました。先日 4 月に 1962 年卒のクラスメートが集まり、楽しい時間を過ごしました。高校生活を那覇高校で過ごしたことは私の大事な思い出です。



初の写真集『Frame out』



アサヒカメラのファーストステップ賞を受賞した作品



葉は虫さんに、根は人さんに。



那覇高校定時制1962年卒Aクラス 2018年4月25日

青春の余韻 ～歌は世につれ予は歌につれ～

長田 清 氏 (20 期)

昭和 40 年頃あった校舎は今はなく、グランドの場所も移動し、わが母校は大幅な改築が行われている。あの頃的那覇高校はもう存在しない。

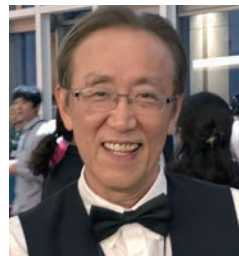
一番残念なのは「かどやレストラン」がなくなったこと。広い店内はいつも那覇高生だけで埋め尽くされていたような記憶がある。アイスコーヒー 5 セント、ぜんざい 10 セント、沖縄そば 15 セント。私は弁当持ちだったので外食はできず、自由になる小遣いも少なく、減多に行けなかった。それでも母の手作りの弁当を買ってくれる友人もいて、たまに手にした 25 セントでアイスコーヒーを 1 杯頼んで、ジュークボックスで音楽を聴くのが楽しみだった。そんなわれわれの社交場だったあの懐かしの「かどや」はもうない。

高校 1 年生の秋に、修学旅行で東京オリンピックに行くことができた。その時苦勞して手に入れたエレキギターを一人で練習していると久高秀盛から声がかかり、ギターのうまい具志春夫を紹介された。それでエレキバンドを組み、翌年 1 月の学園祭への出演も決まった。ドラムの久高秀盛は優秀なマネージャーで、機材からメンバー集め、練習場所の確保までしてくれた。

当時流行のベンチャーズの「ダイヤモンド・ヘッド」に「パイプライン」を具志のギターで演奏し、私は好きなプレスリーの曲「ハード・ヘッド・ウーマン」「ハウンド・ドッグ」を歌った。学園祭当日、初めて見るエレキバンドを前に、満員の城岳ホールは大歓声で揺れた。あの頃はエンターテインメントに飢えていたので、音が出るだけで拍手大喝采だったのだ。

青春の輝きのピークは高校 1 年の時だったと思う。2 年から少しずつ勉強するようになり、大学に入ってから大学闘争の時代で、余裕のない青春になる。卒業後内地で研修して、戻ってからは県立病院勤務。平成 13 年に国場で開業して現在に至る。

古希になった今、自然と思い出すのは古き良き時代のこと。数年前から習いだしたウクレレを手に、当時好きだった歌謡曲やオールディーズの曲をライブで歌っている。また、「小指の思い出」「港町ブルース」などの歌謡曲の歌詞を心理学的に分析してユーモア・エッセイに書き綴り、今年 5 月幻冬舎から出版した。六本木ケントスで結婚当時の百恵ちゃんの前で歌ったエピソードなど面白ネタ満載。ジュンク堂書店などにあるので、読んでもらいたい。



懐かしの昭和歌謡の調べに乗せ、精神分析の視点で歌詞を読み解くエッセイ集

西町クリニック
NISHIMACHI CLINIC

●小児科 ●内科

NPO 法人 こども医療支援わらびの会理事長

医学博士 **真栄田 篤彦** (21 期生)

〒900-0036 那覇市西 3 丁目 4 番地の 1 アーバンビュー西町
TEL. (098) **867-0010** FAX. (098) **850-3285**
E-mail atsuhiromaeda2298@gmail.com

第2回海外ショートステイ・プログラム

(Short Stay Abroad Program (SAP) に向けたハワイ視察 (8月31日～9月7日)

The First Short Stay Abroad Program (SAP) で3月に大変お世話になりました Mark and Hanae Higa さんと Chris Shimabukuro さんにお会いして心からのお礼を申しあげました。特に、Mark and Hanae さんは第36回ハワイ沖縄フェスティバルの実行委員長として、運営、司会進行、そしてファッションショーにも Chris さん夫婦と一緒に登壇する等多忙な役割を担っておりました。そんな中、今後の留学の進め方について、話し合いを持ちましたが残念ながら十分な時間の確保が出来ませんでした。

以下の写真は、第36回ハワイ沖縄フェスティバル会場にて。



Chris Shimabukuro Family。



左から Hanaeさんと Mark さんご夫妻。

9月2日(日)の18時から、会場であるハワイ・コンベンションセンター近くのアラモアナ・ショッピングセンター内にある中華料理店で聖田京子先生(9期)の呼びかけで、ハワイ城岳同窓会準備会を発足することが出来ました。ハワイに長い間住んでいながら「那覇高卒業生が何名住んでいるのか?」考えた事が無かったそうです。去る3月に新垣亮真君が短期留学で



ハワイに来了事で初めて、同窓生が集まって歓迎会をして戴きました。今回は嘉数昇明顧問とご一緒に皆さんにお会いすることが出来ました。近々「ハワイ城岳同窓会」が発足します。

左後列から仲宗根葉子(準会員・名護高校)、Kazuo Nakamine(11期)、仲里政輝(12期)、Joji Boyd(26期)、謝花史哲(琉球新報記者)、前列左から Dr.Okim(7期)、嘉数昇明(14期)、聖田京子(9期)、與儀幸英(20期)

西平医院

・人間ドック
・特定健診
・予防接種

〈診療科目〉
・内科
・循環器科
・消化器科
・呼吸器科
・人工透析
・リハビリ科

院長 西平守樹 (25期生)

〒901-2205 宜野湾市赤道2丁目2番2号

TEL.098-896-1116 FAX.098-896-0766

城岳同窓会の終身会費について

一般社団法人城岳同窓会は会員相互の親睦を図るとともに、那覇高等学校の発展に寄与すること及び地域社会に貢献する事を目的としております。また、本会の経費は会員の拠出金、寄附金、事業収益金及びその他の収入をもって充ております。

さて、会員の拠出金は、年会費 1,000 円または、終身会費 5,000 円によって賄われております。年会費を一括で 5,000 円を納入した場合は、終身会費と見なし、以後年会費は徴収致しません。伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展の為、同窓生一人ひとりの積極的なかわりとご芳志をお願い致します。

振 込 先： 琉球銀行樋川支店 店番号 314 口座番号 普通 338301
 口座名義人： 一般社団法人城岳同窓会 会長 宮里 博史（ミヤザト ヒロシ）
 ご芳名の前に卒業期をご記入下さい。
 問 合 わ せ： 一般社団法人城岳同窓会 事務局 與儀 幸英
 〒 900 - 0014 沖縄県那覇市松尾1丁目21番53号
 TEL (FAX) : 098 - 867 - 2525

城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成8年に実現しました。会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん、どうぞご利用下さい。

- ・ 2 階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室及事務室
- ・ 3 階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は 50 人です。なお、使用料金(光熱費)は 1 団体：1 時間 800 円です。
- ・ 4 階は自学自習室として、学校が活用しています。

写真・映像・音楽を創造する **モリヤマグループ** TEL 098-867-7368



写真撮影



映像撮影



DVD制作



音楽スタジオ



スマホプリント



写真プリント



フォトブック



大判プリント

株式会社 森山写真商会・合同会社 森山レジデンス 代表取締役社長 森山 紹作(那覇高37期)

那覇市東町19-22 カメラのモリヤマ

<http://www.e-okinawa.co.jp/mips/>

LOCKER

FOR CAGERS



Home Page



Facebook



Instagram

Locker【ロッカー】はバスケットボールを愛する
 全ての人のためのショップです。

田畑 信光 (55期生)

〒900-0013 那覇市牧志 3-12-1
 TEL 098-867-3800

城岳同窓会会報

編集発行 城岳同窓会 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525
 E-mail : yogi@jogaku.or.jp

城岳同窓会ホームページ <http://www.jogaku.or.jp>